

同窓会報

第 26 号

平成21年7月17日

発行 泉松陵同窓会
宮城高等学校
〒022-373-4125

印刷 印刷出版(株)
創文印刷出版
〒022-222-0181



さらなる飛躍へ

校長 石崎 哲朗

同窓会の皆様方におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

また、平素から小野会長様を始め同窓会員の皆様方には、母校の教育活動にご理解を賜り、温かいご支援とご激励をいただいておりますことに對しまして、心から感謝を申し上げます。

さて、学校の様子ですが、今年度高校入試の難関を突破した二八〇名の新入生もすっかり学校生活に慣れ、生徒一人一人が勉学や学校生活、部活動などに意欲的に取り組んでいる姿が見られます。今は県総体も終えて七月三日、四日に開催される松陵祭に向けての準備など、学校全体に活気が漲っております。

今年三月の卒業生につきましては、進学・就職を合わせて現役で進路希望を達成した生徒が九五%、とりわけ国公立大学の合格者が十六名に達します。一学級減となり七学級体制

の学年でしたが、一人ひとりがそれぞれの進路達成に目標をしっかりと持ち一生懸命努力してくれた結果であります。生徒諸君のひたむきな努力とその結果は先輩諸氏に胸を張って報告できる嬉しいことであり、同時に後に続く現役生にとりましても刺激となっており、一層発奮してくれるものと期待しているところであります。

部活動では、毎年五月一日に行われる泉三校定期戦では捲土重来を期して全校挙げて頑張りましたが、残念ながら昨年同様の雪辱を果たすことは叶いませんでした。しかしながら、応援団とチアリーダー諸君の応援にかける意気込みとその活躍ぶりは見事なものであり、伝統を受け継いだ全身の力を振り絞っての応援演舞は全校生徒の士気を大いに鼓舞してくれました。

また、高校総体県大会では、弓道ハイ出場を決め、さらに陸上部男子やり投げでも県大会優勝を果たしま

した。続く東北大会では上位入賞ならず惜しくもインターハイ出場を逃しましたが、宮城県代表として立派に健闘してくれたことを大変うれしく思っております。

吹奏楽部も五月の定期演奏会では、大勢の観客の皆さんの前で素晴らしい演奏を披露してくれましたが、これからの各文化部の活躍も期待される所です。以上、学校の様子の一部を紹介させて頂きましたが、泉松陵高校はこれからも「部活動の活



「同窓会とは」

同窓会長 13 回生 小野 裕 介

今年もまたこの季節がやってきました。毎年八月の第二土曜日に同窓会を開催しています。昨年も多くの同窓生の参加により大いに賑わいました。今年は何名の参加があるのかと楽しみにしています。

さて皆さんは「同窓会」というものをどのようにお考えでしょうか。同じ学校だった人達、同じクラスだった人達、色々な意見があるかと思いますが、私が思うのは、松陵高校を卒業した後、同級生だけではなく、先輩、これから卒業する後輩を結ぶ一つの組織ではないかと思えます。その組織が同窓会です。

「同窓会」は色々な年代の人と知り合える良い機会でもあります。

「ホテル白萩」で開催いたします。総会を前に、役員一同は役員会を開き、同窓会に向けて話し合いを続けています。一昨年の「恩師を囲んで」という企画で開催したところ、参加していただいた方々からは喜びの声が聞かれ、またぜひ参加したい、と言頂戴しました。この企画も、役員会に寄せられた要望から実現できたことです。参加された同窓生の方々の話を聞き、どの様な企画が参加したいと思うのか、役員一同で考えてみました。すると先輩、後輩、同級生と集まれるのはもちろんですが、なにより恩師に会いたい、という意見が数多く聞かれました。先輩、後輩、同級生とは、比較的連絡はとれやすいが、先生方とはなかなか会う機会がないとのことでした。そのような意見を頂き、今年度は、14、15回生を担当された先生方に参加を呼びかける予定です。14、15回生の方は年齢だと三十歳、三十一歳を迎えた方々たちです。

皆さんは泉松陵高校卒業生です。これは一生変わることのないものです。泉松陵高校を卒業して進学先や就職先、様々な場面で色々な人たちと出会います。その中で出身高校の話題になる場合があるかと思えます。進学先や就職先で先輩や後輩に会う場面があるかもしれません。松陵高校の卒業生、たったそれだけでその人のことをずっと身近に感じられると思います。卒業生の数は三月の卒業生を含めまして、八、八八七名となりました。まもなく一万名に達しようかという数です。この数を考えてみても、身近なところに同窓生がいるかもしれません。

その「同窓会」ですが、今年度も

「ホテル白萩」で開催いたします。総会を前に、役員一同は役員会を開き、同窓会に向けて話し合いを続けています。一昨年の「恩師を囲んで」という企画で開催したところ、参加していただいた方々からは喜びの声が聞かれ、またぜひ参加したい、と言頂戴しました。この企画も、役員会に寄せられた要望から実現できたことです。参加された同窓生の方々の話を聞き、どの様な企画が参加したいと思うのか、役員一同で考えてみました。すると先輩、後輩、同級生と集まれるのはもちろんですが、なにより恩師に会いたい、という意見が数多く聞かれました。先輩、後輩、同級生とは、比較的連絡はとれやすいが、先生方とはなかなか会う機会がないとのことでした。そのような意見を頂き、今年度は、14、15回生を担当された先生方に参加を呼びかける予定です。14、15回生の方は年齢だと三十歳、三十一歳を迎えた方々たちです。

もちろんこれは14、15回生だけが参加してほしいと言うわけではありません。卒業年度に関わらず、多くの同窓生に参加していただき、旧交を温め、同窓生ならではの話題で盛り上げてほしいと思います。いまままで参加したことが無い人も、今年こそ同窓会に参加して雰囲気味わって見てください。多くの方々の参加をお待ちしております。

泉松陵風信録

思い出がいっぱい

旧職員 石黒 政敏

昭和五十七年四月、三十代の私は開校二年目の泉松陵高に赴任しました。何もかも真新しく、先生も生徒たちも、そして校舎までもキラキラと輝いていました。新しい歴史を築き始めた、言葉に表せない、独特の雰囲気とエネルギーに満ちていました。

私の専門は生物ですが、それまではなかなか本格的な生物の教科指導ができない状況でした。しかし、泉松陵高では二年目から生物の授業がスタートするため、生物の教員としては私が最初の担当者になります。四月一日からさっそく準備に入り、顕微鏡などの教材・教具の発注で夜遅くまで居残りをした記憶があります。でも本格的に生物を指導できる喜びと、この学校の「生物」の授業の歴史を担うのだという誇りに、毎日が本当に楽しかった。設備等に関しても当時の事務室の皆さんにも大いなるご協力をいただきました。心から感謝いたしております。(ハツ



石黒先生

カネズミ逃走事件等ではご迷惑をおかけしました。(笑)

また、部活動でも赴任したその日に「野球部の指導をよろしく」とお話をいただきました。私が教員になったのは好きな野球に携われるから、と言っても過言ではありません。こちらでも嬉しくて毎日グラウンドを駆けずり回りました。硬式野球部は前年度から活動しており、夏の大会にも一年生部員だけで参加し話題になっていました。グラウンドの石拾いなどからスタートし、苦勞して野球部を立ちあげた初代の監督・部長さんから引き継ぎ、二年目の野球部の土台作りを始めました。バッティングゲージなども手作り、強風が吹くと簡単に傾くなど、笑い話のようなことが毎日おきました。それでも初勝利を目指して頑張っていました。また、雨が降ると練習場所が無く、大会が近いときはやむを得ず雨ガッパとゴム長を履き、当時出回り始めていた雨天用ボールを入手し、「雨天決行」で練習をしていました。今では懐かしい思い出です。泉松陵高での野球の経験は、その後の私の高校

たC・E(キャリア エディケーショ)のものではないかと驚きました。これからの日本の教育界が目指すべき手法を、すでに二十数年前に実践していたのです。その先見の明には改めて驚かされました。私はおかげさまで、この春に無事定年退職を迎えました。三十七年間の教員生活の中でも、特に泉松陵高での六年間は私にとって最も充実していた、貴重な時間でした。また、多くの素晴らしい先輩や同僚、そして生徒諸君と出会いました。そこで教えて頂いたことは、今でも私の大切な財産になっています。この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。泉松陵高はまもなく創立三十周年を迎えますが、時代は変わろうとも、あの創立当時の気概・精神は今でも脈々と伝わっていると感じています。今後のさらなるご活躍とご発展を心より祈念しております。

『夢に向かって』

旧職員 柳沢 貞子

私は今年で現役を退きました。泉松陵高校には昭和六十三年度まで三年間お世話になりました。卒業生の皆様は毎日をどのように過ごしているのでしょうか。

大量生産、大量消費の時代が、アメリカのサブプライムローンの影響でグッとしぼんでしまいました。消費は落ち込み、失業者もどっと増えて若者は困惑しているのではないのでしょうか。国は定額給付金なるもの

を出して景気の回復を図ろうとしています。お小遣いまで増えるかどうか。一時金より仕事があるほうがいいですね。また、家電製品やエコカーを購入すると補助金が出るようですが、後でこれをすべて税金で穴埋めするなんていかなるものでしょうか。買える人だけが得する対策を考えるような政府なので、最近選挙にも大いに関心を持つようになりました。さて、その世知辛い世の中を生き抜くためにはどうすればいいのか考えてみました。一つは身の回りのことができれば幸福です。掃除、洗濯、炊事が出来る時間の確保と、仕事に就いて生活出来る経済力を持つことができれば安心です。お金はいくらあっても限りがありません。生活できれば十分です。また、長時間労働では病気になると思います。ストレスを溜めずに生き残るには気分転換がとて重要になると思います。困難な壁にぶつかってもめげない、諦めないことです。時間をかけて乗り越えるか、強引に突き進むか、自分の頭で考えて自分のやり方で進んでいけば素晴らしい未来が待っています。若者には気力、体力、行動力という宝物があります。何もしないで後悔するよりもやって後悔するほうが納得がいくでしょう。失敗してもいいじゃない若者だもの何度でもやり直していいものを見つければよいのです。「失敗は成功のもと」と昔からよく言われています。さあ夢に向かって動いてみましょう。

ブリッジ

教育実習を終えて

第23回生 桂島 麗



私たちは泉松陵高等学校改革の第一期生ということもあり、入学時から卒業するまで先生方には本当に熱心にご指導していただきました。思い返せば、高校生の頃はそんな先生方の熱心な指導に反発心を持ったこともあり、あの頃は大変失礼なことをしたなあ、と今になって反省しています。今思えば、あんなに熱心に生徒と向き合って指導してくださった先生方はとても貴重な存在だったのではないかと感じています。

私が大学進学を選んだのは、泉松陵高校の先生方が大学進学を進めてくださったのがきっかけです。高校に入学した時、卒業後は美容院の専門学校へ進学しようと考えていました。強い動機もなく、専門学校へ進むとしていた私に、先生方は大卒と専門卒との就職状況の現実を教えてくださいました。それからの私は、大学進学を目指し、どんな大学でどんなことが学べるのかを調べるようになりました。そして心理学という学問に興味を持ち、心理学が学べる大学を目指すことが目標となりました。結果的に、東北学院大学で現在も心理学と教育学を学んでいます。私が、私の進路選択に間違いはなかったと思っています。進路選択の時、ただ漠然と抱いていただけの道から、現実の道へ導いてくれた先生方に感謝しています。大学で教育の勉強をし、現在教師という仕事に憧れを抱いて頑張っていますが、今回の教育

実習を通して、生徒指導の大変さ、難しさを痛感しました。実習中、先生方に「生徒指導ができれば、教科指導はできない」とよく言われましたが、本当にその言葉通りだと思えました。教師の基本となる資質は、「どれだけ上手く教えられるか」ではなく、「どれだけ生徒と長く向き合えるか」であることを実感しました。進路選択や受験、部活動やクラスのことなど、生徒一人一人が抱えている問題に対し、生徒の本質を見抜こうとする姿勢が教師には必要だとわかりました。これから私は今以上に、人の本質を見抜ける目を養っていききたいと思っています。

教育実習を終えて

第23回生 新聞 麗



私は高校生の時から先生が大好きでした。廊下を歩いている先生に話しかけたり、相談をしたりと、どんな時でも生徒と真剣に向き合って下さる先生方の後ろをついていくのが楽しくて、いつも先生方の邪魔ばかりしていたような気がします。大嫌いだっただけ強も、泉松陵高校の先生のおかげで好きになりました。人ひとりの人生を良い方向に導いていく、その手助けをすることが教師の仕事です。今まで私が先生方にしていただいたことを、今度は私が教師としてやっていきたい、そう思ったことが教師を志そうと思った一番の理由です。私は今まで、学校というものを生徒の視点からしか見たことがありませんでした。しかし今回、二週間と

いう短期間ではあるけれども、教育現場を教師という立場から見ると、生徒指導の重要性を痛感しました。大学では教科指導を重点的に行う為、まさに理想と現実のギャップを目の当たりにした感覚でした。そうして先生方と過ごしていくうちに、教師は教科だけでなく、様々な視点から生徒と関わっていかなければならぬ、指導していかなければならぬのだと感じました。また、教師の間力が最も大切なものであり、生徒はそれを見て「この先生は信頼できるか」を判断しているのではないかと感じました。私が関わってきた先生方は、どの先生も生徒を一番に考えて下さる先生ばかりです。先生から叱られても、その中で愛情を感じた生徒はドンドン変わっていきます。今振り返ると、なんて失礼な言動をしていたかと後悔することがたくさんありますが、そのことに気づいた時に、今まで指導して下さった先生方への感謝の気持ちでいっぱいになりました。私も泉松陵高校の先生方のような、生徒の為に想った愛情ある指導をしたいと、強く思います。その為にもこれから様々なことを学び、人として成長していきたいです。一人の人間として信頼される教師、それが私の夢であり、目標です。その夢に一步でも近づけるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

優勝したことで宮城県代表としてインターハイに参加できることを光榮に、そして嬉しく思い、インターハイに向けて練習をしています。私たち弓道部は人数が多く大会に出場できる人数が限られています。そのため大会の前に数回行なわれる選考会によって選手を選びます。私は高校から弓道を始めました。同じように高校から弓道を始めた人も多く、スタートラインは皆同じ中で選手になるためには、人一倍の努力と集中力が必要でした。

高総体を目前とした時期、私は団体戦メンバー枠に入れずいました。部活動中や部活動後に仲間からアドバイスを受け、自分の癖を意識し、選考会の時に「諦めない」と手に書き、今まで共に頑張ってきた仲間と団体戦に出場したいという強い思いで取り組みました。そして団体戦メンバーとして出場できることとなりました。

高総体当日は不思議と緊張することなくリラックスしてむかえることができました。仲間が用意してくれた緑色で統一されたはちまきがチーム一丸という気持ちにさせてくれたからかもしれません。弓道では矢が的に当たるたびに「よし！」という大きな声が仲間たちから聞こえてきます。その声を聞くと「もっ」と当てる。という気持ちになりました。仲間の声、応援が私の背中を押し、力となって今回のような優勝という結果を生んだのだと思います。私一人ではなく弓道部員全員の力で得た最高の結果です。

活躍した部活動

インターハイに向けて

弓道部 木村絵里奈



高総体で優勝してみても、まだ実感がないうちという感じが正直な気持ちです。しかし

優勝したことで宮城県代表としてインターハイに参加できることを光榮に、そして嬉しく思い、インターハイに向けて練習をしています。私たち弓道部は人数が多く大会に出場できる人数が限られています。そのため大会の前に数回行なわれる選考会によって選手を選びます。私は高校から弓道を始めました。同じように高校から弓道を始めた人も多く、スタートラインは皆同じ中で選手になるためには、人一倍の努力と集中力が必要でした。

高総体を目前とした時期、私は団体戦メンバー枠に入れずいました。部活動中や部活動後に仲間からアドバイスを受け、自分の癖を意識し、選考会の時に「諦めない」と手に書き、今まで共に頑張ってきた仲間と団体戦に出場したいという強い思いで取り組みました。そして団体戦メンバーとして出場できることとなりました。

高総体当日は不思議と緊張することなくリラックスしてむかえることができました。仲間が用意してくれた緑色で統一されたはちまきがチーム一丸という気持ちにさせてくれたからかもしれません。弓道では矢が的に当たるたびに「よし！」という大きな声が仲間たちから聞こえてきます。その声を聞くと「もっ」と当てる。という気持ちになりました。仲間の声、応援が私の背中を押し、力となって今回のような優勝という結果を生んだのだと思います。私一人ではなく弓道部員全員の力で得た最高の結果です。

高総体で優勝してみても、まだ実感がないうちという感じが正直な気持ちです。しかし

やり投げで優勝して

陸上部 石川 剛



県総体のやり投げで優勝して、一番驚いているのは自分です。地区予選をギリギリの記録で通過した自分がまさか優勝してしまうなんて思いませんでした。自分が優勝できたのは先生や陸上部の方々のお陰だと思っています。二年生の時、剣道部を退部して途中から入った自分を支えてくれたからです。本当に感謝しています。それから剣道部の先生にも感謝しています。自分に剣道や礼儀を教えていただきました。今の自分があるのは剣道部に入ったからだと思っています。何としてもインターハイに出たかったので、東北大会までの二週間は今まで以上に練習しましたが、東北大会は残念な結果に終わってしまいました。当日は雨が降ってしまい自分の力を出し切れなくとも悔しい思いをしました。雨の対策はしていたのにいざ本番で雨が降ると焦ってしまいました。しかしまだ自分には団体出場という目標があります。宮城県選手権では思い残すことが無いよう自分の出せる力を全て出し、団体の出場権を勝ち取ってきたいので、応援して下さい。



平成20年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会会計決算書

収入済額 2,158,042円
 支出済額 1,898,851円
 差引残額 259,191円

収入の部

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
会費	1,005,600	1,000,800	△4,800	@400×延2,502名(準会員分)
入会金	279,000	280,000	1,000	@1,000×280名(3学年生)
年会費	727,200	724,840	△2,360	在校生(3学年生)@1,000×延560名 同窓生 87名
繰越金	114,237	114,237	0	
雑収入	10,000	38,165	28,165	過年度会費
合計	2,136,037	2,158,042	22,005	

支出の部

科目	予算額	決算額	増減	備考
1 運営費	185,000	59,124	△125,876	
会議費	80,000	41,384	△38,616	総会費用・役員会時茶菓
旅費	30,000	12,000	△18,000	監査・役員会旅費
慶弔費	30,000	0	△30,000	
需用費	30,000	420	△29,580	色上質紙
通信費	15,000	5,320	△9,680	役員会案内状送付用ハガキ
2 事業費	1,910,000	1,839,727	△70,273	
報償費	160,000	140,554	△19,446	卒業証書用ホルダー代
会報発行費	1,250,000	1,199,173	△50,827	会報25号印刷・発送・名簿メンテナンス料
積立金	500,000	500,000	0	積立
3 予備費	41,037	0	△41,037	
合計	2,136,037	1,898,851	△237,186	

収支帳簿並びに証書類を監査の結果、いずれも正確に処理されておりその内容は適正なるものと認めます。

平成21年 6月13日

監事 伊藤 治子
 監事 守谷美智子

積立金

H20. 3. 31現在	預金利子	H20年度積立額	H21. 3. 31現在積立額
6,613,594	18,548	500,000	7,132,142

平成21年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会会計予算書 (案)

収入の部 2,260,191円
 支出の部 2,260,191円

収入の部

(単位 円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
会費	1,003,200	1,005,600	△2,400	@1,200×836名
入会金	276,000	279,000	△3,000	@1,000×276名
年会費	711,800	727,200	△15,400	在校生 @2,000×276名 同窓生 @1,880× 85名
繰越金	259,191	114,237	144,954	
雑収入	10,000	10,000	0	過年度会費等
合計	2,260,191	2,136,037	124,154	

支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
1 運営費	220,000	185,000	35,000	
会議費	80,000	80,000	0	総会費用・役員会時茶菓代
旅費	35,000	30,000	5,000	監査・役員会旅費
慶弔費	30,000	30,000	0	弔意
需用費	55,000	30,000	25,000	会務用消耗品・横断幕
通信費	20,000	15,000	5,000	役員会案内状送付用ハガキ・切手
2 事業費	2,010,000	1,910,000	100,000	
報償費	160,000	160,000	0	卒業証書用ホルダー
会報発行費	1,350,000	1,250,000	100,000	会報26号印刷・郵送料・名簿メンテナンス料
積立金	500,000	500,000	0	記念事業積立
3 予備費	30,191	41,037	△10,846	
合計	2,260,191	2,136,037	124,154	

◎平成20年度卒業生（平成21年3月卒業・26回生）進路状況

卒業生の進路状況

	卒業生 人数	進 学				就 職		受験準備 その他
		大 学	短期大学	看護医療	専門学校	一般企業	公務員	
男子	127	96	1	0	15	2	2	11
女子	151	92	19	5	23	8	1	3
計	278	188	20	5	38	10	3	14

◎大学合格者（のべ数） 大学はアイウエオ順

国公立大合格者

大 学	学 部	学 科	20年度
会 津 大	コンピュータ理工	コンピュータ理工	1
秋 田 大	工 学 資 源	情 報 工 学	1
香 川 大	工	機 械 知 能	1
北 見 工 業 大	工	機 械 環 境	1
宮 城 教 育 大	教 育	初 等 教 育	1
宮 城 大	看 護	看 護	1
		事 業 構 想	1
	食 産 業	デ ザ イン 情 報	1
		事 業 計 画	2
	フ ァ ー ム	フ ァ ー ム	1
		フ ー ド	1
山 形 大	医	看 護	1
		工	1
	地 域 教 育 文 化	応 用 生 命 シ ス テ ム	1
		物 質 化 学	1
	文 化 創 造	1	

県内私大合格者

大 学	学 部	学 科	20年度		
石 巻 専 修 大	経 営	経 営	1		
		情 報 ビ ジ ネ ス	1		
	理 工	機 械 工	2		
		生 物 生 産 工	4		
尚 綱 学 院 大	総 合 人 間	現 代 社 会	8		
		生 活 環 境	3		
		人 間 心 理	2		
		表 現 文 化	1		
		健 康 栄 養	2		
仙 台 白 百 合 女 子 大	人 間	健 康 栄 養	2		
		総 合 福 祉	6		
		国 際 教 養	4		
		人 間 発 達	8		
仙 台 大	体 育	運 動 栄 養	4		
		健 康 福 祉	5		
		ス ポ ー ツ 情 報 マ ス メ デ ィ ア	1		
		体 育	1		
		東 北 学 院 大	法 文	法 律	1
				英 文	6
歴 史	2				
東 北 工 業 大	工	環 境 建 設 工	7		
		機 械 知 能 工	10		
		電 気 情 報 工	6		
		電 子 工	8		
	経 営 経 済	経 営 工	7		
		共 生 社 会 経 済	15		
		経 済	9		
		教 養	言 語 文 化	2	
情 報 科 学	4				
地 域 構 想	2				
人 間 科 学	1				
東 北 福 祉 大	工		知 能 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	1	
		情 報 通 信 工	1		
		建 築	1		
		環 境 情 報 工	1		
	ラ イ フ デ ザ イン	建 設 シ ス テ ム 工	1		
		安 全 安 心	3		
		経 営 コ ミ ュ	2		
		東 北 福 祉 大	健 康 科 学	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	1
福 祉 心 理	1				
情 報 福 祉 マ ネ	2				
東 北 文 化 学 園 大	医 療 福 祉	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	4		
		総 合 政 策	2		

大 学	学 部	学 科	20年度
東 北 薬 科 大	薬	薬	1
宮 城 学 院 女 子 大	学 芸	国 際 文 化	3
		食 品 栄 養	2
		心 理 行 動 科 学	3
		児 童 教 育	1
		生 活 文 化	6
		日 本 文 学	10
		人 間 文 化	6
		発 達 臨 床	2

県外私大合格者

大 学	学 部	学 科	20年度
亜 細 亜 大 学	経 営	経 営	1
跡 見 学 園 女 子 大	文	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 文 化	1
奥 羽 大	薬 学	薬 学	1
嘉 悦 大	経 営 経 済	経 営 経 済	1
関 東 学 院 大	経 済	経 済	1
		経 営	1
工 学 院 大	工	建 築	1
国 士 館 大	政 経	経 済	1
埼 玉 学 園 大	人 間	人 間 文 化	1
芝 罘 女 子 大	文	英 文	1
実 践 女 子 大	デ ザ イン 工	デ ザ イン 工	1
女 子 栄 養 大	栄 養	保 健 栄 養	1
拓 殖 大	商	経 営	1
桐 蔭 横 浜 大	医 用 工	臨 床 工	1
東 海 大	生 物 理 工	海 洋 生 物 科 学	1
東 京 工 芸 大	工	建 築	1
東 京 電 機 大	未 来 科 学	建 築	1
東 京 都 市 大	環 境 情 報	環 境 情 報	1
東 北 芸 術 工 科 大	デ ザ イン 工	ブ ロ ダ ク ト	1
		建 築 ・ 環 境	1
		映 像	1
新 潟 薬 科 大	薬	薬	1
日 本 大 学	工 生 産 工	機 械 工	1
		環 境 安 全 工	1
日 本 医 療 科 学 大	保 健 医 療	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	1
明 星 大	日 本 文 化	言 語 文 化	1
明 海 大	外 国 語	英 米 語	1
酪 農 学 園 大	環 境 シ ス テ ム	生 命 環 境	1
立 正 大	社 会 福 祉	社 会 福 祉	1

県内私大合格者

短 大	学 部	学 科	20年度
尚 綱 学 院 大 短 大 部		保 育	4
聖 和 学 園 短 大		保 育 福 祉	10
		キ ャ リ ア 開 発 総 合	4
仙 台 青 葉 学 院 短 大		看 護	3
東 北 生 活 文 化 短 大		子 ども 生 活	1
産 業 能 率 短 大		能 率	1

看護医療系合格者

磐 城 共 立 高 等 看 護	1
太 田 高 等 看 護	1
亀 田 医 療 看 護	2
仁 愛 看 護	1
仙 台 医 療 セ ン タ ー 看 護	1
花 巻 高 等 看 護	1
水 沢 学 苑 看 護	1

就職・公務員

T H K	1
東 北 電 力	1
幸 楽 苑	1
フ ジ ・ コ ー ポ レ ー シ ョ ン	1
ヤ マ ダ 電 機	1
会 澤 高 圧 コ ン ク リ ー ト	1
マ ル タ マ	1
アイ ティ ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ンズ	1
埼 玉 県 警	1
陸 上 自 衛 隊	2

今春の進路状況



進路指導部長 遠藤 昭一

進学

平成二十一年三月卒業生の大学進学状況は四年制大学一八八名、短大二〇名の計二〇八名で、大学進学率は七五%となり、ほぼ前年並みを維持した。市内の高校の中でも現役で二〇〇名以上大学進学している学校は少なく、現役合格率は九五%に達している。内容的には国立大十六名は過去最高の数字で、東北学院大学も新設の共生社会学科などを中心にのべ八〇名が合格して大きく数字を伸ばした。反面、地元の女子大や県外の学校に進学する者の割合は前年度よりも減少した。本校は数年来推薦・AO入試を中心に順調に進学者の数字を伸ばしてきたが、今後は如何にして一般合格者の数を増やしていくかが大きな鍵となろう。国立大や難関私立大の合格者の数を伸ばすためには、センター試験の得点率アップや一般受験にも対応できるような実力の養成が必要である。そのため、進路指導部では通常授業だけでなく模擬試験の有効活用や課外参加率の向上など鋭意努力している。

専修・各種学校

看護系の五名も含めて四三名が専修・各種学校に進学した。全体の十五%で一昨年を上回った。これは工業系(自動車整備)や美容系に進む生徒が多かったためである。同一の資格を取得できるのであれば、なるべく大学・短大の方を進めているが、

専・各学校でなければ取得できない資格もあるので、将来の就職も見据えて実績を見ながら、これからも慎重に学校を選ばせたいと思う。

就職・公務員 公務員就職は埼玉県警一名、陸上自衛隊二名の計三名、民間就職は東北電力など計一〇名で、合計一三名は全体の約五%に当る。世界同時不況の影響で後半は求人が激減したが、就職希望の生徒の大半が就職先を確保できたのは幸いだった。今年度は昨年よりも大幅な求人の減少が予想されるが、就職希望生徒はきめ細かな対応を心掛けたいと思っている。

平成二十年度末

教職員人事異動

【転出者】

- 吉本 裕一 教頭《理科》ご退職
橋本 貞雄 《数学》ご退職
高橋 弘 《英語》利府高へ
飯田 宏 《英語》宮三女高へ
馬目 弘泰 《理科》多賀城高へ
田村 泉弥 《英語》仙台高へ
内海とき恵 《養護教諭》

小野寺洋子 《主幹》宮城野高へ
佐々木大輔 《主事》加美農業高へ
塩崎 武彦 《技術》多賀城高へ

《常勤・非常勤講師》

- 伊藤 瑛子 《理科》
高城布実与 《理科》
青沼 伸吾 《国語》
風間 智恵 《数学》
吉田 雄大 《数学》
二階堂愛子 《情報》

【転入者】

- 小田 浩一 教頭《理科》
戸田 歩美 《数学》浦谷高より
吉野貢太郎 《英語》中新田高より
瀬賀ちあき 《英語》石巻西高より
郡山 康博 《数学》東松島高より
横尾 勇 《英語》岩出山高より
西澤 朋子 《養護教諭》塩釜高より
小澤 裕子 《理科》佐沼高より
伊藤 直子 《主任主査》富谷高より
菅原 圭子 《主査》保健福祉部医療整備課主事より
吉野 康夫 《主任技師》宮城広瀬高より

《常勤・非常勤講師》

- 吉本 裕一 《理科》新規
橋本 貞雄 《数学》新規
宮本 歩実 《数学》新規
門間 洋介 《体育》継続
齋藤 秀雄 《英語》継続
清原 一彦 《体育》継続
佐藤 美紀 《国語》継続
鈴木 直子 《カウンセラー》継続
星 公美子 《カウンセラー》継続

同窓会員からのお知らせ

皆様の中で事業を立ち上げていらっしゃる方、芸能活動をしている方、お店を経営している方など居りましたら、返信用葉書にてお知らせ下さい。総会の場で、紹介するコーナー等を設ける予定です。

同窓会 11月の一年の活動

- 09・2・7 第四回役員会
3・1 第二十六回卒業式
5・17 第一回役員会
6・13 第二回役員会
7・18 第三回役員会
7中旬 同窓会報第二十六号発行・発送
8・8 第二十六回総会・懇親会(ホテル白萩)

泉松陵高校HP内に同窓会情報があります

同窓会事務局からのお知らせ!! 年会費二,〇〇〇円の納入にご協力を!! 『同窓会報』の全員配布や同窓会活動全般の活性化のためには皆様からの年会費が欠かせません。皆様から頂いたお金は後輩たちのため、我々のつながりを維持し発展させるために大切に使用しております。同封の振込み用紙を利用し、出来るだけ年内中に振込みをお願いします。

平成21年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会 総会・懇親会ご案内

日時 平成21年8月8日(土)
受付 16:30 ~ 17:00
総会 17:00 ~
懇親会 17:30 ~
会場 ホテル白萩
会費 3,000円



※ 同封のはがきに出欠の有無等を記入していただき、50円切手貼付の上7月31日必着にてご返送ください。高校時代の思い出や将来について語り合ひましょう。お誘いあわせの上、多数ご参加くださるようご案内申し上げます。